

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター  
所 長 名  
( 公 印 省 略 )

病害虫発生予察技術情報について  
令和3年度病害虫発生予察技術情報第2号を公表したので送付します。  
令和3年度病害虫発生予察技術情報第2号

## マンゴーにおけるマンゴーハフクレタマバエの防除対策について

マンゴーハフクレタマバエの幼虫はマンゴーの新葉～新梢部の軸までの柔らかい組織部内に潜行して食害します。収穫後に発生する夏秋梢は、翌春に花芽を着ける大事な新梢であるため、加害されると大きな減収となります。8 月以降は新梢の発生時であることから被害拡大を防ぐためにも防除対策を徹底しましょう。

### 1 生態

- (1) 本種の幼虫はマンゴーの新葉～新梢部の軸までの柔らかい組織部内に潜行し食害する。寄生された葉には 1.5～3.0mm の円形の虫こぶが形成される(図1)。幼虫が脱出した虫こぶには虫食いのような孔が形成される(図2)。
- (2) 高密度に寄生された葉は落葉が早まる。また、幼虫が虫こぶから脱出した後に炭そ病に感染する葉が多く、落葉が促進される。
- (3) 幼虫は体長約2mm。乳白色～橙黄色のウジ虫である。幼虫は成熟すると新梢を脱出し(図3)、跳びはね地面に落下し、地中で蛹化する。
- (4) 成虫は体長約 1.3～1.7mm。体色は明褐色、複眼部は黒色(図4)。

### 2 防除対策上注意すべき事項

- (1) 本種は発育が早いため、初期防除を徹底する。
- (2) ハウス外からの成虫の飛来を防ぐため、ハウスを防虫ネット(0.6mm)で覆う。
- (3) 被害が発生した新葉および新梢(図 2)は直ちにせん定し、ハウス外に持ち出し処分する。
- (4) 黄色粘着トラップなどで早期発見に努める。

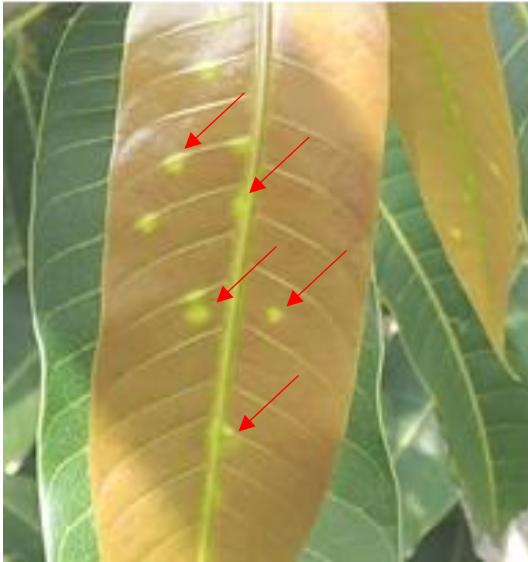


図1. 新葉における被害。矢印は虫こぶ。



図2. 幼虫が脱出した後の若葉の様子



図3. 虫こぶから脱出する幼虫



図4. 成虫